文芸ひろば

詠歌の紹介

短歌

千代田短歌会

太陽に黒々の月重なりて百三十九万キロの金環燃ゆる　中島良平（稲吉東）

わだつみはのたりのたりと春の潮（しお）祈り届けむ還らぬ魂へ　的場登志子（上土田）

花摘みてひとり遊びをせし孫の二児持つ母となりてたくまし　宮本和子（中佐谷）

エビネ蘭雨に巻葉のほどけきて花穂かそかに顔のぞかせて　目黒しづ子（稲吉東）

出島短歌会

五月晴れ嫁入り船もゆるやかに潮来の川辺見送る人びと　小室貞江（西成井）

全盲の鍼師（はりし）このめる音楽を聞きつつ揉まれて話題を拾ふ　小貫弘子（牛渡）

投稿作品

竜巻の荒れし街辺も晴ゆけば山襞すがし紫峰を望む　渡辺静江（稲吉東）

▼俳句・短歌の投稿は、秘書広聴課までお願いします

文化協会加盟団体紹介

かすみがうら市

史談会

史談会は、昭和44年10月に、千代田村史談会として発足し、歴史講座の開講や各地区の史跡調査記録、遺跡の保護などの活動を続けてきました。昭和51年に史談会会誌を創刊し、以来およそ40年にわたり多くの会員が研究成果や文芸などそれぞれが渾身の力作を発表し続け、現在第25号まで刊行しています。この会誌は、他には類例を見ない歴史的刊行物であると自負しております。近年の活動は、史跡遺跡の保護保存活動の一環として、石造物を主とした「拓本」つくりに取り組んでいます。昨年は閑居山に関わる摩崖仏などの拓本をかすみがうら祭に展示出品し、好評をいただきました。風化による磨耗で現物が失われても、拓本という形で保存することで、後世の若者たちへいくかでも役に立てれば幸いと願うところです。

会長　鈴木善二

市民学芸員

雑記帳　心の歴史と免疫

心の歴史の中で心身ともに順風満帆という人はいないと思います。最近の混迷の時代を反映し鬱（うつ）の話がメディアなどでも取りあげられ、企業などによってはそのための長期休暇推奨などの対策を講じています。その要因は単純ではありません。オーバーワークなどもその一つと思われますが、心身の負担は人、夫などに違うことと思われます。こうした悩み苦しみは次のステージへステップアップするための助走期間であり避けて通れない道なのかと思われます。また言い換えれば心の免疫を作るためのワクチンなのではないでしょうか。このワクチンを受けることによって人は心身ともに成長して心の中に奥行きと幅が出来て行くのです。

神仏に手を合わせ悩み苦しみを心の中でお話しすると、少しずつ悩み苦しみが薄れいでゆき、前向きな感情に変化していく感覚となります。市内に残る仏像が、市民の皆さまにとっても心のよりどころとなるよう市民学芸員として紹介していきたいと思います。

桂木郁夫

Tanabata festival in yamayri-mansion

1 2 3 4 5 8 色とりどりの浴衣姿で七夕まつりを楽しむ子どもたち 6 やまゆり館入口に飾られた七夕飾り 7 コミカルな掛け合いやダイナミックなパフォーマンスのお猿さんショー 9 フルーツ・フェアリー撮影会に協力してくれた子どもたち

Camera Report

◉七夕まつり

主催／やまゆり館子育てサロン

社会福祉協議会子育て支援事業

親子で楽しむ七夕まつり

7月6日、やまゆり館で七夕まつりが開催されました。ヨーヨー釣りやミニうちわ制作、お猿さんショーなど親子そろって楽しむことのできるイベントが多数行われ、色とりどりの浴衣姿で訪れた親子連れがまつりを楽しみました。

七夕まつりがやまゆり館で行われ、390人の親子連れが七夕のイベントを楽しみました。ボランティアの協力により模擬店を出店し、参加した親子は、ヨーヨー釣りやミニうちわを制作したり、綿菓子やかき氷を食べたりしながらまつりを楽しみました。館内では、お猿さんショーが行われ、トレーナーとお猿さんによるコミカルな掛け合いや息をのむほどのダイナミックなパフォーマンスの数々で訪れた親子連れを楽しませました。大技が決まった時には、大きな歓声と拍手で大盛り上がりの様子でした。

また、まつり会場では、フルーツ・フェアリー撮影会が行われ、撮影に協力してくれた5人の子どもたちがかわいらしいドレスに身をつつみ、会場を回りながらお菓子を配るなど市の観光物産のPRに協力してくれました。